

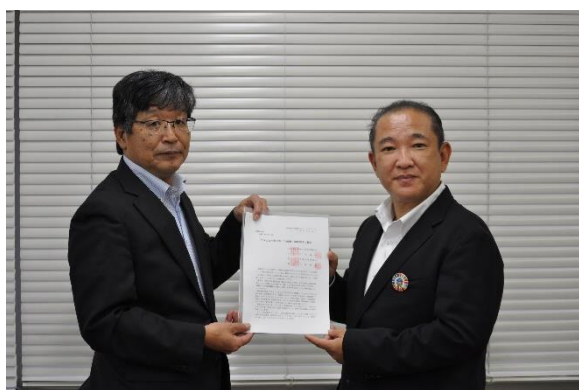
## 相模原地域連合

### 2022年度に向けた「政策・制度要求と提言」提出式を開催！

2021年9月8日(水)、相模原地域連合は、相模原市役所において「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」提出式を行いました。提出式に先立って、「相模原市社会福祉基金」および「新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金」への寄付金を贈呈しました。



相模原市本村市長からは、寄付への御礼と現在、市が進めている取り組みについての説明があり、コロナ対策やSDGs 未来都市としての今後のまちづくりの展望等についても話されました。



各単組からの要求について、議員団からのご助言をいただきながら、役員会等で協議を重ね、取りまとめたものです。私たち働く者の声が、しっかりと市政へと反映されるよう、今後の市の取り組みに期待します。

要求項目の取りまとめ、提出までご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



提出式では、連合神奈川吉坂会長の挨拶に続き、相模原地域連合武田議長代行より、コロナの状況はまだ厳しく要求項目も昨年より増えているが、SDGsの理念に基づき、働く仲間の雇用と生活を守り、持続可能なまちづくりに向けて、提出する「要求と提言」を市政へと反映してほしいという挨拶がありました。



今年度の要求項目は、1.経済産業(10項目)、2.雇用労働(15項目)、3.福祉・社会保障(28項目)、4.社会インフラ(19項目)、5.環境(16項目)、6.教育・人権・平和(25項目)、7.行財政(12項目)、8.新型コロナ関連(24項目)の、計149項目となりました。

